

令和5年度 二戸市総合計画推進委員会 議事録

開催日時：令和6年3月25日（月）午後1時30分～3時30分

会場：市役所1階会議室

【出席委員（敬称略）】

吉野 英岐、戸舘 弘幸、中田 勇司、生内 雄二、馬淵 貴尋、高橋 美佐子、國分 一彦、下舘 光弘、小保内 威彦、大建 ももこ、小軽米 健太、高田 将洋、薄井 大輔

【説明のため出席した職員】

藤原市長、加藤教育長、

（令和6年度体制）千葉守総務部長、泉山茂利樹市民部長、泉山武将健康福祉部長、田口了産業振興部長、古山淳夫建設整備部長、姉帯敏美浄法寺総合支所長、立花幸博教育部長、横舘英昭総合政策課長、佐々木貴幸財政課長

（令和5年度体制）長畑宏範財政課長

（事務局）古舘晶政策推進課長、田口貴寛政策推進課副主幹

～～～ 開会 午後1時30分 ～～～

政策推進課長（進行） 開会に先立ちまして、会議に入る前に、資料の確認をいたします。資料1～6がお手元にあるかご確認ください。
本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。ただいまより、令和5年度二戸市総合計画推進委員会を開催いたします。
はじめに、本日ご出席の委員の皆様を、ご紹介いたします。

（出席委員の紹介）

また、本日、川上委員、一本木男委員、工藤委員、上野委員からは、欠席の連絡をいただいております。

次に、市の出席者を紹介します。

（市側出席者の紹介）

次第の2、あいさつに移らせていただきます。最初に、本会の委員長でございます生内委員長よりごあいさつ頂戴いたします。

生内委員長 お忙しい年度末のなか、集まっておいただきありがとうございます。まず、正面にいる市側の出席者を見て、二戸市の来年度以降の事業、このまちを引っ張っていく方々をみて、うれしい気持ちでいっぱいです。みなさんと我々がタッグを組んで、そして公民連携という形で進んでいかなければならないのだろうと、実感しました。そして、今日集まっておいただいている皆さんの顔ぶれを見て、昔、私は先輩たちがいるなかで、下っ端であえいでいたところ、今はたくましい若者が集まって、二戸市のことを思って、今日、発言してやろうかという気持ちで来ているわけです。そうすることによって、言葉でキャッチボールできると思います。新たなチャレンジにヒントになると思う。今日出る資料に対して、非常にいっぱいありますが、いろんな意見を述べてください。それを生かしていきましょう。

ありがとうございました。続きまして、藤原二戸市長よりごあいさつ申し上げます。

藤原市長

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございました。また、日頃、皆様方には、各分野におかれまして地域づくり、まちづくりに多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに公民連携といいますか、市民の皆さんと一緒にしながら、まちをつくっていくべきでございますが、新しい年になって市の方でご迷惑をおかけしているところでございます。

年があけまして、元旦は、能登半島地震、2日は飛行機事故、3日が消防出初め式、4日には、舌崎地域において、火災が発生し、人が亡くなるという痛ましい事故が発生しています。能登半島地震においては、市の職員3名が能登に行って、復旧復興のお手伝いをしているところでございます。また、輪島、能登半島全般に募金等を行っている所でございます。そこからが問題でございます。横断歩道を歩いていましたお年寄りを職員がはねてしまった、事務的な不祥事があり、さらには女性に対して、社会人として最低の行動をとってしまいまして、市民の皆さんに対しては至る所でお詫び申し上げているところです。本当に申し訳ありませんでした。回復に向けて、一生懸命取り組んでしかないと考えているところでございます。

さて、生内委員長からもご紹介がありましたが、3月定例会において、組織再編を提案しました。これから、財政等に相談しながら、長く続けているようなものをもっともっと事業展開できるものなのか、今の課題は何かを整理しまして、総務部、市民部を設置し、内部の人事も変えております。新聞等で報道されておりますが、4月1日から戸館さんを副市長としてお願いすること、人事等の組み直しをして進めてまいりたいと、考えております。

3月議会、新年度予算等におきまして、大きくはご説明申し上げているとおり、金田一、九戸城、駅、浄法寺の4つに振り分けて行っている所であります。浄法寺地区においては、手をつけることができないでいました。6年度につきましては、重点的に取り組んでまいります。天台寺、漆等も含めまして、東北ナンバーワンのお寺にしていきたいし、全国ナンバーワンの漆の産地をもっともっと広げてまいりたい。それが特色をだすものであります。金田一温泉につきましては、やり方は間違っていない。Park・PFIを使い、プール、宿泊施設をつくりました。その後、新型コロナが蔓延し、その影響で破綻寸前となり、現在は議会と一緒に、立て直しを図っている所でございます。九戸城につきましては、本丸・二の丸は環境整備が終わりました。これから4年、5年先には、今の裁判所が荷渡地区に移ってまいりますので、その跡地に歴史民俗資料館等も持ってきて、歴史のまちとなると思います。また、価値のあるものについて、明治の始めはここから始まったと、知事のお話をいただいているところでございます。相馬大作をはじめとして、吉田松陰が萩で松下村塾を立ち上げ、松下村塾の中からいろんな人材が輩出し、二戸においてになって会舗社をつくられました。そこから、田中館愛橘、蛇沼政恒、國分謙吉が出ていったことは、まさに、身近に感じられるのかなと思っております。ぜひ、物にしてまいりたいと存じます。今、宝くじの助成金で田中館愛橘ゆかりの家の改修を計画しています。採択になれば、3分の1が市の整備で、3分の2が地元の公民館となります。1つずつ進んでいくと思います。駅のほうは、駅東側の区画整理を行っています。今までと社会総合整備交付金があったが、別な財源を見つけながら、やっていかなければ進まないところでございます。浄法寺地区は、収蔵庫の改修に予算がつきまして、明日、臨時会に諮り具体的に進んでまいります。漆の区分につきましては、田子町の中畑さんにおいていただきながら、鍛冶工房を整備して魅せていければと思います。県の方では、知事がマニフェスト+39の公約のなかで産業技術短期大学の建設と、県北農業研究所の果樹部門のてこ入れを言っております。人口減少が続いている県北地区ではございますが、絶対にものにする気持ちで考えております。首長の力を借りて、国、県と連携して進めてまいりたいと考えております。本日は、いろんな事業を説明申し上げますが、皆さんのご意見を賜りたいと考えておりますので、ご指導いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

- 政策推進課長 続きまして、次第の3、議事にはいります。
お手元に二戸市総合計画推進委員会設置要綱を配付しております。第6条の2の規定により、委員長が議長を務めることになっておりますので、議事進行を生内委員長にお願いいたします。
- 生内委員長 それでは、暫時進めさせていただきます。
議事の「(1)、二戸市総合計画の進捗状況等について。」の、「ア 市総合計画後期基本計画の事業評価及び令和6年度の重点事業について」事務局から、説明願います。
- 各部長 (各部長により、所管の内容について、資料1、資料2により説明)
- 生内委員長 説明が終わりました。事務局からの説明を受けて、ご質問、ご意見がございましたら、各団体、各地域の想いがいっぱいあると思います。それを含めてお願いします。
- 中田委員 事前にアクションプラン・重点項目を見させていただき、非常に多岐にわたって、様々な分野にやられているなど、感じました。私自身30歳のころ、カシオペア連邦を立ち上げ、広域的なまちづくり活動してきたところであります。早30数年経ちますが、やってきたまちづくりに対して、想いがございます。そういったなかで、最近、人口減とかいろんなことが表れてきたところでは、一つとして、地元高校の志望者が最近減る傾向にあります。県立福岡高校においては、半分、6割ぐらいになっております。今日の配付資料で高校魅力化推進事業の予算があることは、非常によかったと思っています。福岡高校といえば、野球が非常に強く、高校3年間非常に充実した思い出があります。県下3番目に古い高校に位置する伝統校に、半分ぐらいしか志望者が地元からいないことは、一つの減少の現れであるという危機感を持っています。
しかし、福岡高校においては、3年生109人中60人の国公立合格率ということで、校長先生曰く、県下の高校で4番目だそうです。非常に高い進学率を誇っています。高校の先生は非常に頑張っています。こういったご支援をしても、もう中学校で盛岡に行く人は戻ってこないです。地元をきやなく見ていると思います。地元の誇りを取り戻すような取り組みをやっていかなければなりません。
次に、シティセールスの項目がありますが、非常に大事でございます。人口減のなか、新幹線二戸駅でコーヒー1杯が飲むことができる店がございません。人口が減ることで否めないですが、関係人口、交流人口を増やせると考えています。商売も復活させることができると考えています。シティセールスのよさを語ると書いていますが、このような視点をぜひ、強化していくべきです。
今回、二戸市観光協会の会長として出席していますが、4月から一般社団法人二戸市観光ツーリズム協会としてスタートします。自立して、地域の観光を発信して、事業を展開していこうという思いです。自らも、いろんなことをやっていこうという考えです。先日、軽米町観光協会副会長と話をすることがあり、ぜひ二戸市のみならず軽米町も一緒になって取り組んでいきたいと、力強い言葉をいただきました。軽米町は「ハイキュー」で盛り上がっています。二戸の駅を利用します。バスも利用します。ラインとしては一緒です。市の観光協会は奥まったところに事務所が位置している。駅のほうに移転できないか調整しています。前面に出ながら、皆さんのお知恵を拝借し展開して、シティセールスにつなげていきたいと考えております。
ふるさと納税について、弱いと感じました。果樹、肉、漆などいろんなものがあります。他の市町村をみると大規模に行っている。取り組みを強化してもらいたいです。
最後に、カーリングの計画が残っています。具体的に話が出て5年になります。昨日、30回目のカシオペア杯カーリング大会が行われた。12チーム、50名ほとんど初心者の方が楽しまれました。5年前の懸案事項だった市長がいう3つの課題については、普及・浸透という面では、図られていますし、事務局もカシオペアFMが行うと手を挙げております。もうひとつ財源ですが、何かとんがったことがないと、新幹線の駅を活かしきれないと思っています。ぜひ、カーリングというのは、あまりございません。盛岡では、東北各県から1万人の利用者があります。新

幹線の最寄りの駅があれば、交流人口、関係人口は間違いなく増やせると、カダルテラスも生かせると思います。今から建設するのは大変だと分かります。ただ、積極的、戦略的に打って出でいかないと人口減とともに寂れていくのではないかと心配しています。

生内委員長 ほかにいかがでしょうか。

高田委員 日頃から親身になっていただいて、どうやったら、できるかという方向で対応していただきありがとうございます。

重点項目の防災と安全について、資料1、8ページ79番の消防団について意見を述べさせていただきます。私も消防団に入っています。火事場でポンプの操作や筒先をもって消火活動しています。活動して思うことは、実際の火災現場での消火活動と、訓練の内容があっていないと思います。火事現場でポンプの使い方が分からない、水の出し方が分からない、ホースの付け方が分からない人がいて、あたふたすることが多いです。消防団の訓練として、消防演習、操法競技大会がございます。消防演習での水圧と火事場の水圧を混同している消防団員がいて、危険です。二戸市は水上げの訓練をしない。見栄えを良くするための訓練に時間を割いて、火を消すための訓練がありません。今後、火事以外の災害が多くなってきています。今の訓練だと、実際に、対応できないと思います。みんなボランティアで、少ない時間を割いて、訓練しています。なんのために訓練しているのか伝わらないと、訓練しないし、団員の勧誘活動にもつながりません。実際の災害の時に役立つような消防団の活動に変えていただけないでしょうか。

次に、資料1、9ページ95番の道路についてです。市民生活の安全を守ることは当然のことだが、一方、農地に行くため、プロイラー農場に行き来するため業者が使う道路でもあります。観光とか買い物に行く道路ではなく、産業を守るため、活かすための道路の観点も持ってもらっていただきたい。人が少ないから、道路を直さなくていいというわけではなく、後回しにされている所があり、大型トラックが通れない、とか、すれ違おうとしたときに、側溝にはまって、道路が使えず、ライフラインが断たれてしまうことがございます。道路ひとつふさがっただけで、大きな損害が出る場所があるので、全体の産業のことをみていただきながらやっていただければと思います。

生内委員長 ほかに、いかがでしょうか。

國分委員 子どもの視点から意見を述べます。平成27年4月からこども子育て制度が施行されまして、市内の保育園、幼稚園も保育事業として、アクションプランに載っているが、ある程度網羅されています。子どもにとっても親にとってもありがたい制度と思っています。事業を継続してもらいたい。令和4年に子ども基本法が制度化され、各市町村で条例を定めることとなっています。市でも近年中に条例化するとの話を聞いていますので、素晴らしいものになるよう期待しています。

それから、幼保小のつながり、それから特別支援といいますが、気になる子どもの急増、こちらでもアクションプランに掲載されていますが、特に幼保小のつながりというのは、昔、吉田元教育長の時に立ち上げ、それ以来、連携会議が存在し毎年活動していますが、今の時代でこれが大事だということが薄れてきています。その時の重点だけでなく、年間を通して5歳、6歳の子がどういう成長をして、小学校にいくのか、あるいは小学校の先生が、就学前の子供たちが生活しているという実態のなかで話し合いのなかで進めていく場がほしいです。気になる子どもを、健常児のなかで子どもを育てていくのか、特別支援のクラスをつくってやっていくのがいいのか、いろいろ議論されるところです。市でも今の時代にあったやり方を取り上げていただきたいです。

次に、九戸城関係のことです。旅行者をよく見かけます。駅から歩くと、(九戸城跡に)行きつかない、帰りは関連したところを見ていただければと思いますが、その人たちに伝わっていません。案内板が不足しているかと思われます。九戸城も整備されてきているので、(案内板を)整備の中に考えていただければと思います。

次に、二戸市内に道の駅をつくってほしいと思います。道の駅の波及効果は、大きいと思われます。ぜひ次の計画のなかで検討してもらえればと思います。

最後に、スポーツで活気のあるまちにしてもらいたく、陸上競技場の計画を検討してもらいたいです。整備するのは大変ですが、子どもたちにはうれしい施設になると思います。

生内委員

ほかに、いかがでしょうか。

駅前と浄法寺地区については、これからの議事でおこないます。

馬淵委員

職業訓練の団体を行いながら、雇用に関すること、ここ数年は、移住定住に関することを絡めて事業を行っています。資料1に関連するいくつかの事業がございます。移住定住のなかで、空き家、住まいの不動産の相談が出てきます。空き家の適正管理は都市計画担当課になりますし、移住者のための空き家バンク提供は移住政策のセクション、空き店舗対策となれば商工担当課と、セクションがそれぞれ別になります。二戸市の規模であれば、我々は、ある程度、顔がみえる規模であります。この事業は都市計画に、この事業は商工と進めることができます。しかし、相談となると、場合によっては、たらいまわしにされる可能性があります。セクションの区切りは、致し方ないと考えています。今後、空き家バンクの活性化のため登録件数を増やしたいです。そのために、都市計画担当課の働きかけを積極的に行っていただきたいです。

一方で、今、建築資材が値上がりし、若い人が土地を買って新築を建てることは厳しくなりました。盛岡あたりだと、中古物件とか、リフォームイノベーションの需要が高まっていると聞いています。二戸でもできるのではないかと考えています。しかし、空き家であります、相続がされていないので、空き家バンクに登録できない物件があります。そうすると、司法書士の出席になったり、要件が複雑になったりします。住まいに関して、力を入れていただきたいです。

生内委員長

ほかに、いかがでしょうか。

小軽米委員

稲庭交流センターの改修工事を楽しみにしています。改修にあたり、稲庭交流センターがどういう役割を果たすのか、それを定めるところからになると思っています。地元民も頑張りたいと思っています。

それぞれの地区で役割が違ってきていると思います。例えば、総合スポーツセンター周辺は、総合スポーツセンターがあるので、スポーツエリアとし、その周辺にカーリング場があれば、駅を利用できます。また、カーリング場は、複合的施設になればいいと思います。駅周辺には商店街がなくなって、総合スポーツセンターに向かう方面に、商店街のにぎわいをつくっていけばよいのかなと思います。金田一、九戸城、天台の湯は、周辺のイメージがつくのですが、地元の人たちが楽しめる場所、他から来るだけでなく、地元の人が楽しめる場所は、おそらく堀野地区ではないかと思われます。ほかにもありますが、堀野地区は、商業施設が整っていて、市民の動線ができていないかと思っています。理想としては、大きな空き地があり、そこに地元の人たちが遊んで、買い物できて、大きなショッピングモールのイメージでつくることができればと思います。ほかに、リラクゼーション施設、商業施設がほしいと思っています。

話が代わって、デジタル化、新技術と言われています。防災センターができますが、防災ってどうなのかと思った時、例えば、ドローンは意識しているのでしょうか。浄法寺地区、御返地区とまちなかを結び付け、物を運ぶのにドローンははずせないのではないかと思います。ドローンを管理するセクションが必要となります。距離があるからこそ、ドローン、自動運転技術は活用してほしいです。

生内委員長

そのほか、いかがでしょうか。

大建委員

金田一温泉は、1626年の開湯で、あと2年で400年にあたり、みんな一緒になって、金田一地区を育てようと、躍起になっています。何もやるにしても、地域の人にも、それ以外の人にも認められるになるには年数がかかります。みんなで育てようとする、さらに時間がかかります。

話が代わりますが、先日、当館のお客様よりじゃらんネット、楽天トラベルで部屋の予約販売をしていて、気が付いたら、お客の口コミが5点満点になっていました。全国的にみても5点満点は、少ないみたいです。ようやく育ってきたという実感がわいてきました。カダルテラスについてもオープンすぐに百点満点の施設になるのは、不可能と思っていますので、ゆっくり皆さんと使い方を相談して、育てていくことができればと思っています。

カダルテラスの使い方として、例えば、うちの旅館は古いので、高齢者の宿泊はカダルテラスと連携して、車いすで利用していただいたり、海外の人がベッドを希望する場合は、ほかの旅館からカダルテラスに回したり、カダルテラスに予約した人が座敷童子のファンである場合は緑風荘に観光に行き、漫画ハイキューのファンはうちの旅館にきていただくなど、やり取りが生まれ始めています。開湯400年の時にどこまで育っているかわかりませんが、長い目で見てもらえればと思っています。

私は、こういう会議で、他業種の人と話をする機会が横に串を通したような話を聞くことができる機会が少ないです。二戸市は、フットワークが軽いのも利点だと思います。機会が増えてくると、先の九戸城の観光で、こちらがご案内したお客様が現地で困っている場合、おもてなし不十分で終わってしまいます。観光業では周りの地区との連携が切れないので、連携があればと思います。市役所のなかでも串を通した何かができていればと思います。

生内委員長 そういうことを含めて、新しい組織体制になったと思います。
それでは、次に移ります。「イ 財政状況について」事務局より説明願います。

佐々木財政課長 (資料3により説明)

説明が終わりました。ご質問やご意見はございませんか。

生内委員長 市には、貸借対照表があるのでしょうか。

佐々木財政課長 財務諸表がホームページに公開されております。

生内委員長 財政については、市税が減っていく流れで、大変だと思いますが、やりくりをしていただければと思います。
次に移ります。「ウ 公民連携推進事業について（ア）天台寺周辺地区について」事務局より、説明願います。

政策推進課長 (資料4により説明)

姉帯浄法寺総合支所長 (資料5，6により説明)

生内委員長 はい、ありがとうございます。天台寺地区周辺に関しての事業計画が出されましたが、ご意見
ございませんか。
あじさいとイメージすると、鎌倉のあじさいを連想しますが、そこは何本ぐらい植えている
のでしょうか。

姉帯浄法寺総合支所長 その本数は確認していませんが、気になる所として、男鹿に雲昌寺という所がございます。
そこは、4千本植えています。境内が狭くて、密集してご覧になることができる所です。天台寺
につきましては、参道の下から上まで4千本ですので、中心となっているのは、仁王門と本堂の
間です。その部分を増やしていきたいと考えています。特に苗を買うより、寂聴さんが植えて
いただいたアジサイを市民の皆さんと一緒に育ててもらいたいと考えていますので、剪定し、家庭

のプランターを用意しながら、枝分けしていただければと思います。

生内委員長 はい、ほかいかがでしょうか。

高田委員 目標1万本としているが、達成すると全国1位になるのでしょうか。
現時点で、付加価値になるものがあるのかないのか、教えてください。

姉帯浄法寺
総合支所長 本数については、調べが足りないもので、もう少し検討していきたいと思います。天台寺のアジサイにつきましては、魅せ方が一番になります。先に紹介した雲昌寺の例もありますけど、密集させてアジサイの良さを打ち出し、ライトアップを行っていきます。私たちが考えている付加価値とつきましては、寂聴先生が植えたアジサイを増やしていきたいです。あとは、魅せ方だと思います。同じようなライトアップになるか、みなさんからシーズンに多くの方がきていただくような形を検討していきます。実施については、国と協議して様々な形にしていきたいと思いますが、具体的なものについては、市民の皆さんから賛同していただいて、枝分けをしてことが第一歩になります。そして、みなさんが育てたアジサイをそこに植えていただき、市民と一緒に創り上げる形にしていきたいと考えています。

高田委員 本数については、どうせやるなら本数は日本一。他にも負けない本数になりますが、増やしてほしいと思います。

付加価値について、ここが大事と思いますが、今の時点で、市民から出してもらおうのですが、付加価値がない状態で進めていくと、金田一の例もあるのですが、建物が建つと決まってから、付加価値を探し歩いたのではないのでしょうか。今の段階で付加価値がある候補がないと、また繰り返すのではないかと不安です。ソフトを生かすためのハードであって、ハードありきで後からソフトを付けるのは難しいです。

まずは、付加価値を決め、市民から意見をいただいて、それをどう整備したら最大限に生かされるか、二戸市として考えていただければ、魅力ある観光地になるとと思います。

生内委員長 全体でもいいです。駅前のことも含めて、ご意見、ご質問いただければと思います。

小軽米委員 1万本も大事ですが、面積、密度も意識してもらえればと思います。目指すなら日本一をお願いします。公民連携で天台寺周辺地区の整備であります、民の部分はどこに入っているのか、どこから入れていくのでしょうか。

生内委員長 今の質問について、どうでしょうか。

姉帯浄法寺
総合支所長 公民の民ということですが、私たちは環境整備について市が主導します。ソフトの部分については、共有していくことが私たちのスタンスです。それから、鍛冶工房につきましても民間の会社、例えば、うるしば合同会社があります。また、そばにあるかつら庵、新たに整備をめざしている旧岡本小学校跡地については、民と一緒にやらなければならないと思います。構想段階については、皆さんの話をいただきながら、協力がどの程度進めていけるのか考え、現実可能なものを取り組んでまいります。ただ、現実可能だけだと、夢のない構想になってしまいますので、みなさんと夢を持った構想に落とし込んでまいりたいと思います。

小軽米委員 令和6年度でどこまで完成するのでしょうか。

姉帯浄法寺
総合支所長 6年度に関しましては、①から⑥までありますが、資料5の赤い箱書きになっている事業については、手を付けるところです。これで全部やるわけではなく、例えば②の歩道周辺整備については、歩道整備、除間伐を進めていきますが、遊歩道部分などは、複数年度で取り組んでまいります。令和10年度で天台寺開山1300年を迎えます。そこを目指した形でイベントを組みたいと

考えています。具体的なものにつきましては、皆さんの知恵を借りながら、ここ二戸で進めてまいりたいと存じます。

生内委員長 ほかに、いかがでしょうか。

吉野委員 3つお聞きしたいです。財政状況の話がございましたが、自主財源の繰入金が約14億8千万円、そのうち財政調整基金をどれくらい取り崩していますでしょうか。残りの財政調整基金がどのくらい残り、見通しはどのようなのでしょうか。各自治体で取り崩すことが多く、あと何年もつかという話を聞きます。

2点目は、漆で、能登半島で地震があり、輪島が苦勞されていると聞きますが、一般の人が、輪島のほかに漆をやっているのはどこ？と質問したら、(二戸と) 答えが返ってくるのでしょうか。輪島以外の産地の話が出てきません。他の産地と一緒にどうやって漆を皆さんに分かっていただけの取り組みのアイデアはありますでしょうか。

最後に、公共交通の件です。運転士所得の件、ガソリンの値上げなどにより、公共交通が減ります。盛岡も大変なことになっています。代わりに自治体が、デマンド交通、コミュニティバスを行います。自治体がお金を出しますが、運転手、車両が必要で、仕組みはあまり変わっていない。運転手がいなければどうしようもありません。世の中は、ライドシェアなど運転手が入れ替えています。個人の車を使うより、制度をつくって、交通会社の車を転用するのではないやり方を考えていかないとなりません。公共交通に対して、新しい取り組みがありますでしょうか。

生内委員長 それでは、事務局からお願いします。

佐々木財政課長 今年度の基金の繰り入れは約14億8千万円で、昨年度に比べ3億1千万円程度の増となっています。こちらの要因としては、下水、簡易水道の企業会計への移行に伴って安定した財政運営を行うための出資金の支出で3億円を支出するところです。予算としては、収支のバランスをみながら繰り入れましたが、6年度は、特殊事情で3億円増加しました。財政調整基金については、昨年度より8千万増の5億5千万円を繰り入れ、残高は10億5千万円程度となります。これまで、財政調整基金と減債をあわせまして20億程度の基金残高を保持してきたところですが、3億円の繰り入れにより残高17億円程度となっております。そちらは災害対応を含め、必要な基金として、残しておくべきものと考えております。健全な財政運営に努めたいと思います。

姉帯浄法寺総合支所長 輪島では漆器生産は分業制で行い、個人が専門性を持っています。様々な工程があります。こちらは一貫作業となります。輪島の産業について、正確な数字は持ち合わせていませんが、輪島の漆器だと、かつて40～50億の産業でしたが、現在は、20～30億に減少していると思われます。漆器文化を盛り上げるため、こちらは、原材料を生産していますので、輪島の伝統工芸と連動して進め、もう一度、日本全体が漆器について知って拡げていくことができればと思います。まだ、具体的な案はございません。

泉山市民部長 二戸市は、JRバス、県北バスとタクシー会社が走っています。補完する形でコミュニティバスが走っています。大きい方針だと、民間会社の路線を維持していただきながら、市が補完している形をとっています。デマンド交通を運行するに至った要因として、バスを運行していますが、バスの利用者が減ってきています。デマンド交通だと、自宅から乗ることができるようにしており、利便性が高いということですので、試行しながら進めてまいりたいと思っております。ライドシェアについては、公共交通会議でも話が出ていて、二戸市の交通事業者はまだ早いかかと、自分たちで何とかしていきたいと言っていますので、様子を見ながら対応していきたいと思います。

生内委員長 はい、ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

小保内委員

アジサイの植栽事業ですが、例えば、協力していただいた市民に、例えば3株中1株を市民にあげることができませんでしょうか。一戸町だと藤島のフジは国道4号から見えるところにあります。そうすると、4号沿いのフジが咲いていると、藤島のフジは咲いているのかなと脇道に入ります。天台寺に行く用事がなくても、バス、タクシーで寄った時に、浄法寺のまち全体でどこが咲いているのが分かれば、素敵なことなのではないかと思います。1万本の目標で分けていったら、目標に近づくのが遅くなりますが、天台寺を中心とした浄法寺全体がアジサイにあふれるまちとコンセプトとしてはおもしろいのではないかと思うので、提案をさせていただきます。

先日、水沢に行ってきました。奥州市にZアリーナがあります。なぜ、この施設をZホール、Zアリーナと呼ぶのかと、推測すると、木村榮さんのZ項からきたのかなと思いますが。子どもたちは、県内からZアリーナに行くぞ、と。CMでもZホールのことが流れています。地域の愛着として、何回もCMに流れると、脳の中で再生されます。こういうのが、二戸に少ないのではないのでしょうか。地域の歴史、伝統を教える講座や、槻蔭舎希望塾があるわけですが、普段から行く場所に、偉人とか二戸はこの人を推している名前をつけることができたらいいいと思います。例えば、シビックセンター、市民文化会館の大ホールの名前を変える、県北青少年の家で、カーリングの時だけ、例えば、苔米地アイスアリーナと名前を変えれば、子どもも我々も覚えるでしょう。1年に1回の大事なこともいいのですが、常に行くところの名前が変わっていったら、教育のほうから、現れるのではないのでしょうか。

市の職員は、研修でいろんなところに行かれます。いろんなことを学び、市政に生かしていると思われます。今、公民連携をこれだけ進めていく中で、地域のワークショップにおいて、何回もお話させていただいています。回数を何回も重ねなければならないと、一つ一つの進捗が進みません。参加した人たちから、この間お話ししたことはどうなっているのか、と聞かれます。1年間に3回集まって、次の年に反映されるかという、反映されることが少ないです。市の事業とかで協力しなければならないので参加し、成果が見えないと、行っても仕方がないだろうと、来た市民等がやる気をなくしてしまいます。

難しいかもしれませんが、私たちも少ない自由時間を使って、市と協力してやっていきたい思いはあるので、市の若手職員と話す機会を設けて、ほかの市ではこういうことをやっている、うちらでは、こういうことをやっているぞ、と、普段話し合いをする機会があると、限度があるが、地域の人たちのやる気がでくるのではないかと、と思われます。同時に、議員も離れていっている感じがします。公の方に入ると、民との話し合いが少なくなっていると思われます。市ではこういうことをやっている、もっとPRしてもいいのではと思います。

生内委員長

時間が推してきているのですが、最後に何か意見を述べたい人はいらっしゃいますか。

薄井委員

前回の委員会で、二戸駅前町内連合会でイベント事業を継続させるために、イベント補助金を活用させてほしいと伝えました。来年度は、新イベント事業補助金を活用させていただきたいと考えています。この1年間、この委員会が開かれることを想定して、どういったことが課題で、課題解決ができるかなと考え、1年間おしてやってきました。自分が住んでいる町内会に限らず、その他の組織や団体において、人材不足が課題になっていると感じました。先日、研修会があり、それに出席しました。ほかの自治会の出席者も同じことを言っていました。

参加率を高めるためにどうしたらよいのか、何のために地域のイベントや事業を行っているのか、と疑問に思いました。地域を盛り上げることで、盛り上がってよかったねという認識ではなく、その先の地域おこしのために、例えば、県民が二戸に来る、または国を動かすかもしれません。それによって、減っていく財源を増やしていくことができるのでは、と考えます。

市には、イベントを行うことは長い目で見た時に、いろんなメリットがあるよ、と各地域の組織・団体の人に伝えることが必要です。広報、SNSで情報発信し、参加してもらって、こういう効果、メリットがあるよと、市民の皆さんに伝え、自治会のモチベーションを上げていただくことを可能な範囲でお願いしたいです。

下館委員

いろんな諸課題があるなかで、二戸の魅力を発信していかなければなりません。スピード感を

持って事業を推進してもらいたいと思います。

高橋委員 　少し前に落久保周辺を歩いていた時、観光客の方に「この辺何もないね」と言われ、ショックを受けたことを思い出しておりました。案内板があつたらいいなと思っております。あと、若い方がご意見を出していただき、若い力があるなと思います。この会議に参加すると素晴らしいなと思っております。社協のほうで協力できることがあれば、お手伝いしたいです。

國分委員 　2、30年前ですが、教育委員会で人材バンクという、いろんな専門性を持った人を調査して、登録して、いろんな機会にお願いすることがありました。いまは、そのような話を聞かないので、やっていないと思います。人材の発掘をすることもいいかもしれません。

戸館委員 　すばらしい意見交換でありました。地域として生き残っていくうえで、どれだけ外貨を稼ぐことができるか、どれだけ活性化することができるかだと思います。そこにもう少しスポットを当てていこうかなと考えながら、話を伺っていました。

　効率化を図るのも大事ですが、どうしてもそちらに偏ってしまうと、全体のパイが増えないような感じがいたします。付加価値をつける事業が構想されて盛り込まれてきていますので、そこを重点にしてやっていきたいなと思っています。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

生内委員長 　予定時間をオーバーしましたので、議事を終了します。事務局にお返しします。皆様ありがとうございました。

政策推進課長 　生内委員長、大変ありがとうございました。今後の市政運営に反映させていきたいと思っております。

市長 　いろいろお話をいただきましたが、今の計画、第2次総合計画が30年先を見すえたまちづくりということで、毎年、一番を目指してやっていかなければなりません。行政だけやってもそれは変わらないし、天台寺周辺地区だと、森林組合からのお力を借りなければなりません。間伐して、その所に何を植えるか、あるいはお地藏さんとかコケなどどう生かすのか、みんなでやっていかなければならないと思っております。建物をつくって終わりではなく、建物つくるのはお金があればつくることができます。地域を盛り上げることは、お金ではできないものなので、それらを大切にやっていくのが、公民連携になってくると思います。人口減少が進む中で、何に影響が出るとかと、皆さんが心配している通り、コミュニティの希薄化、町内会、消防団の活動等様々なことがあります。道路事業についても区画整理をしているわけではありません。上斗米、足沢のほうも道路整備、橋の架け替え、補強をおこなっているところでございます。決して駅前のところを集中しているわけではありません。

　自分たちのアイデンティティといいますか、地区について、誇りを持つというか、金田一の方は、金田一温泉が宝であると、福岡の方は、九戸城を宝にしながら広がってほしいです。駅は、周辺とか区画整理であるが、きちんと仕上げていかなければなりません。観光協会につきましては、組織替えをして、今まで引っ込んでいた位置から目立つところに置きながら交流を深めていただきたいです。浄法寺については、アジサイだけを植えているわけではありませんが、もともと浄法寺では各地で植えているそうです。道路のそばに引き込むのは大切なことだと思います。

　第3次総合計画において、盛り込まなければならないものを皆さんからいただいて、今回はあと2年残した第2次総合計画がどれくらい進んでいるのか、お聞きしようと思いましたが、第3次の方まで意見をいただきました。令和6年度、みなさんからご意見をいただかなければならないと考えております。例えば、カーリングは宿題を預かっていて、3つをクリアしなければならないとありますから、どうやって、一緒になって考えていく必要があるかと思っております。

　浄法寺町と合併した時、職員は444人でしたが、今は300人を下回っております。その分を事業費にまわそうと考えております。財政調整基金の話も出ました。17億しかない。わたしは20億持っていなければならないと、災害が発生した時、財政調整基金10億、減債基金10億を

もっていなければ対応できない、と話しております。貯金を取り崩していくような予算編成は通用しないと思っております。今日はいろんなご意見をお聞きました。ありがとうございました。

政策推進課 それでは、これをもちまして、二戸市総合計画推進委員会を終了とさせていただきます。
長 本日は、ありがとうございました。

～～～ 閉会 午後３時３０分 ～～～